

# 課題を直視して進める業務改革で 介護サービスの魅力を向上



2016年 3月 17日  
介護のシゴト魅力向上懇談会資料

オリックス・リビング株式会社  
森川悦明



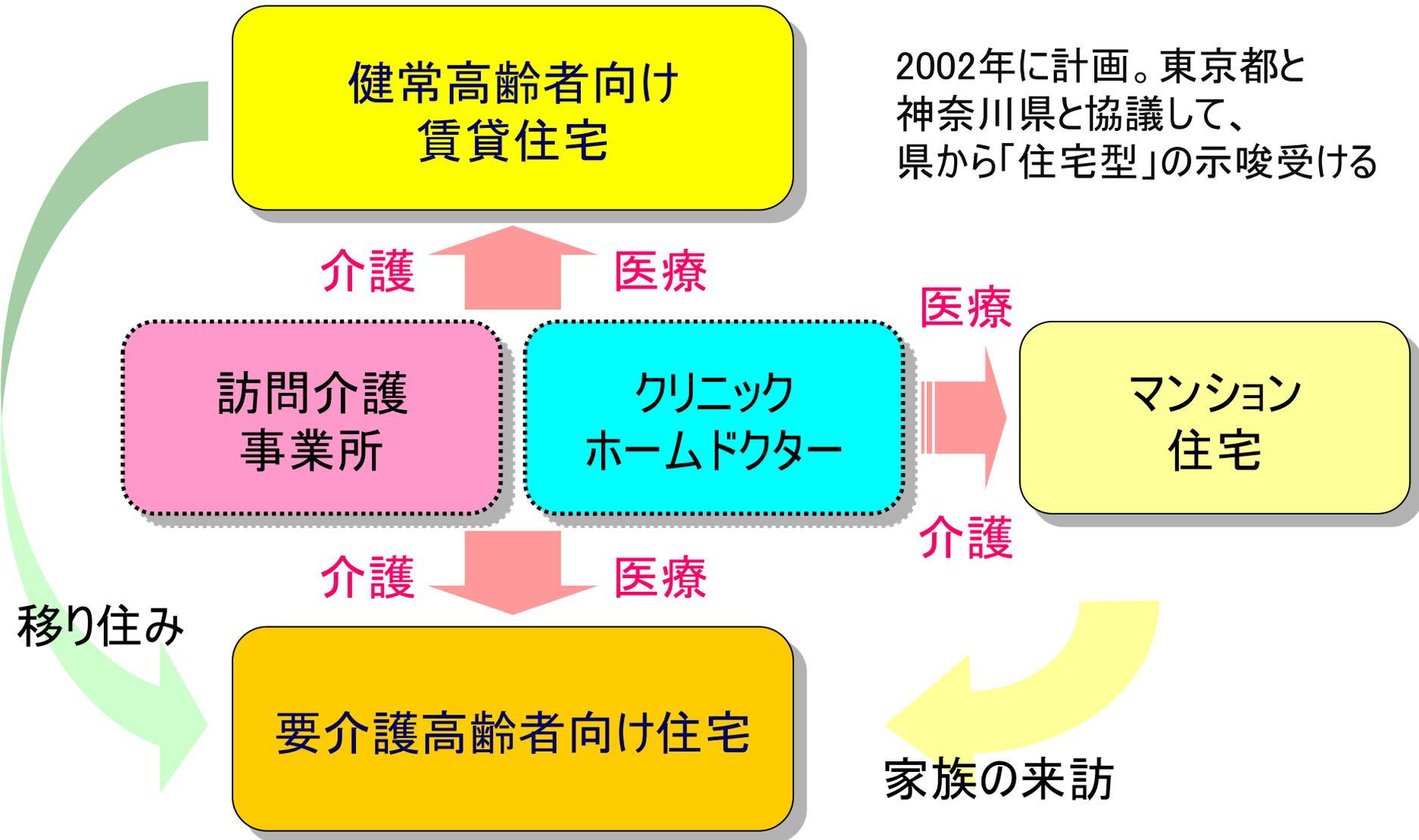
# 2002年、新しい介護の常識と 本当に求められている ライフスタイルを求めて

愛されて10年 信頼と実績

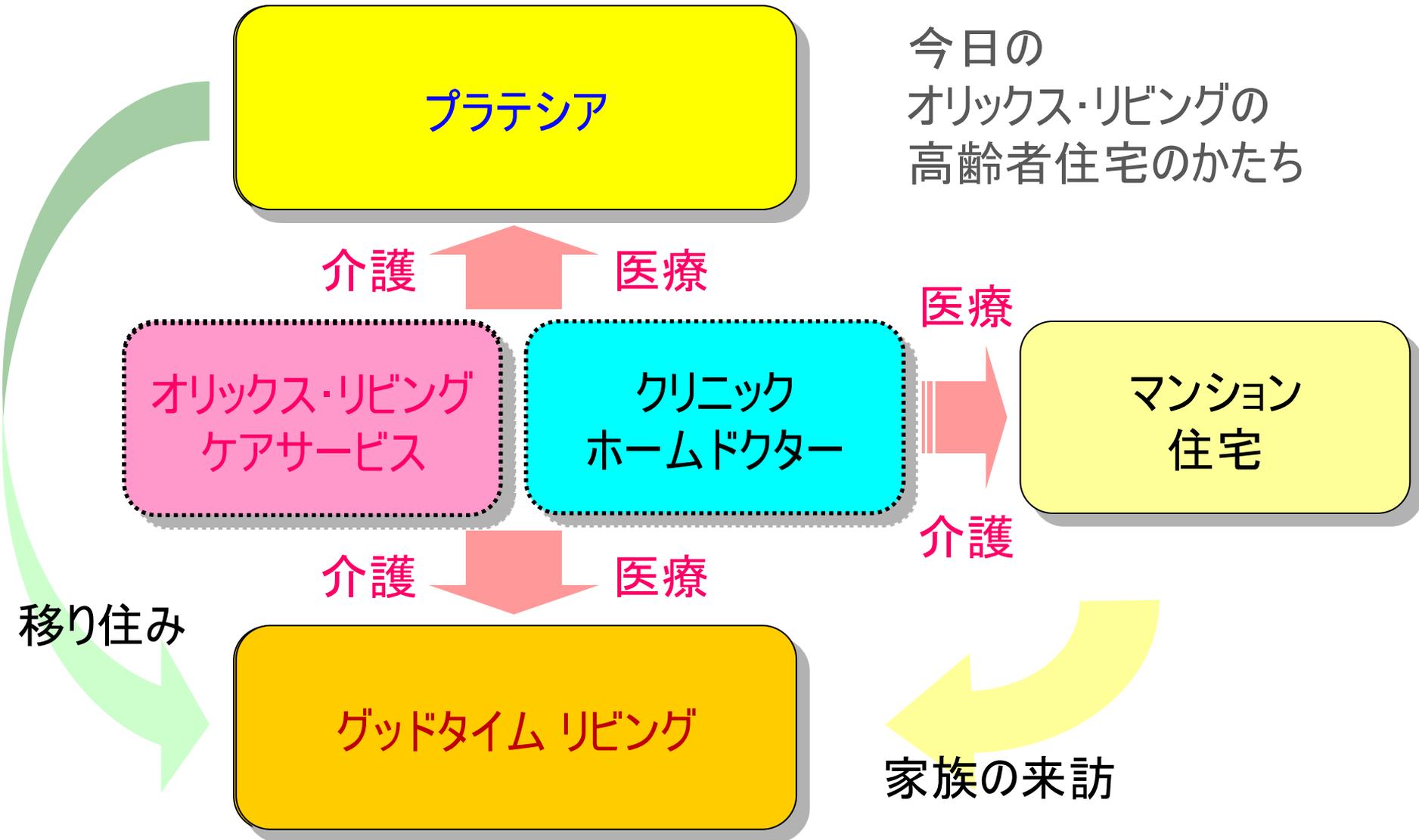
オリックスの介護

検索 

# 私たちが考えた高齢者住宅のあり方



# 私たちが考えた高齢者住宅のあり方



# 開発事例（住宅複合開発）

マークスプリングス

神奈川県横浜市



- ・住宅型  
有料老人ホーム
- ・訪問介護事業所
- ・クリニック



開業年度	2003年
敷地面積	54,767m <sup>2</sup>
住 宅	分譲マンション: 640戸 戸建て住宅: 94戸
付属施設	クリニック 温浴施設 店舗

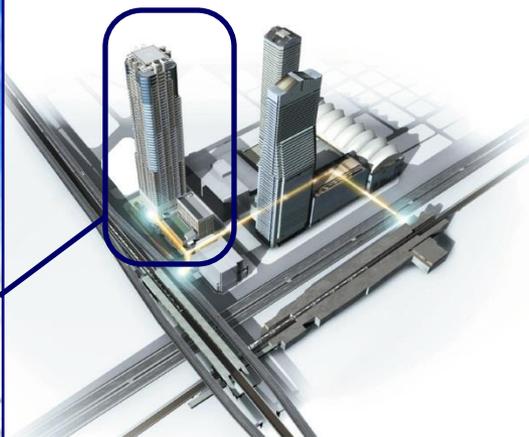
輝 の 社	住宅型 有料老人ホーム
室 数	40 室

# 開発事例（住宅複合開発）

## 大阪ベイ



- ・住宅型有料老人ホーム  
（2013年介護付に転換）
- ・クリニックモール



## 大阪府大阪市

開業年度	2006年
敷地面積	5,568 m <sup>2</sup>
住 宅	分譲マンション: 456 戸
付属施設	クリニックモール ドラッグストア スーパーマーケット
グッドタイム リビング	介護付 有料老人ホーム
室 数	93 室

# 開発事例（住宅複合開発）

千葉みなと / 海岸通 & 駅前通

千葉県千葉市



- ・住宅型有料老人ホーム
- ・訪問介護事業所 ・クリニック



開業年度	2007年	2007年
敷地面積	3,904 m <sup>2</sup>	3,699 m <sup>2</sup>
住 宅	高齢者向け 賃貸住宅： 92 室	分譲マンション： 81 戸
付属施設	訪問介護事業所	クリニック 訪問介護事業所
グッドタイム リビング	住宅型 有料老人ホーム	住宅型 有料老人ホーム
室 数	141 室	107 室

# 開発事例（住宅複合開発）

流山おおたかの森

千葉県流山市



- ・住宅型有料老人ホーム
- ・訪問介護事業所
- ・クリニック



開業年度	2007年
敷地面積	3,699 m <sup>2</sup>
住 宅	分譲マンション:524戸 戸建て住宅:51戸
付属施設	クリニック 訪問介護事業所

グッドタイム リビング	住宅型 有料老人ホーム
室 数	54 室

# 開発事例（住宅複合開発）

亀戸

東京都江東区

開業年度	2009年
敷地面積	20,123 m <sup>2</sup>
住宅	分譲マンション： 700戸
付属施設	託児施設 クリニック コンビニエンスストア



グッドタイムリビング	住宅型 有料老人ホーム
室数	83室

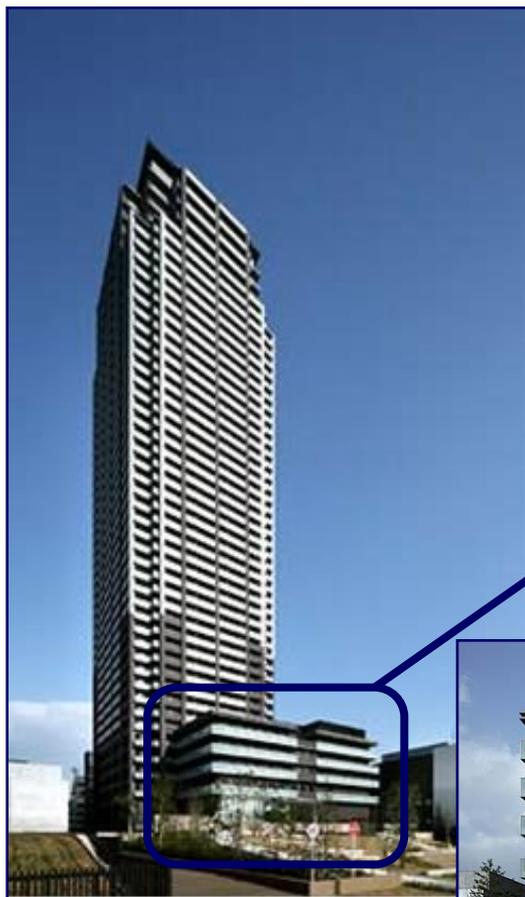


- ・住宅型  
有料老人ホーム
- ・訪問介護事業所
- ・クリニック
- ・コンビニエンスストア

# 開発事例（住宅複合開発）

御影

兵庫県神戸市



・住宅型  
有料老人ホーム



開業年度

2010年

敷地面積

11,648 m<sup>2</sup>

住 宅

分譲マンション: 408戸

付属施設

隣地商業施設一体開発

グッドタイム  
リビング

住宅型  
有料老人ホーム

室 数

88 室

# オリックス・リビングのご紹介：運営実績（2015年12月 現在）

- 運営する高齢者住宅 2,287室／27ヶ所
  - 有料老人ホーム(住宅型) 1,807室／21ヶ所
  - 有料老人ホーム(介護付) 314室／ 4ヶ所
  - 高齢者向け賃貸住宅 166室／ 2ヶ所
- 建設・企画中の高齢者住宅 約400室／ 5ヶ所

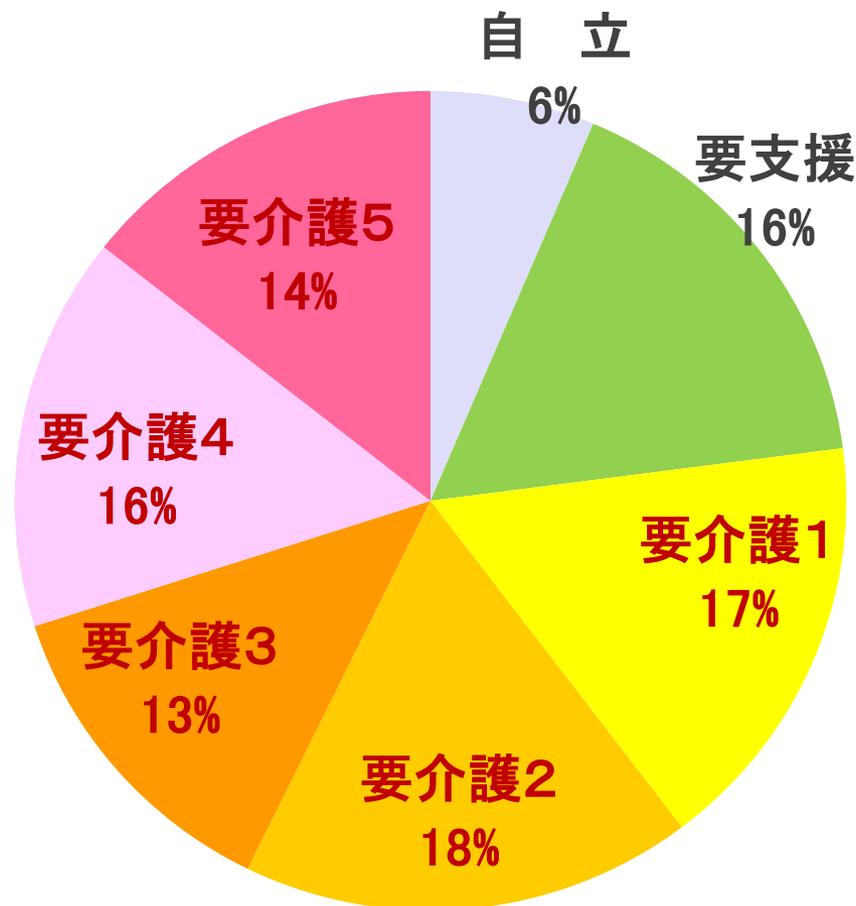




# グッドタイムリビング ご入居者の要介護度

2015年12月末時点

N=1,843

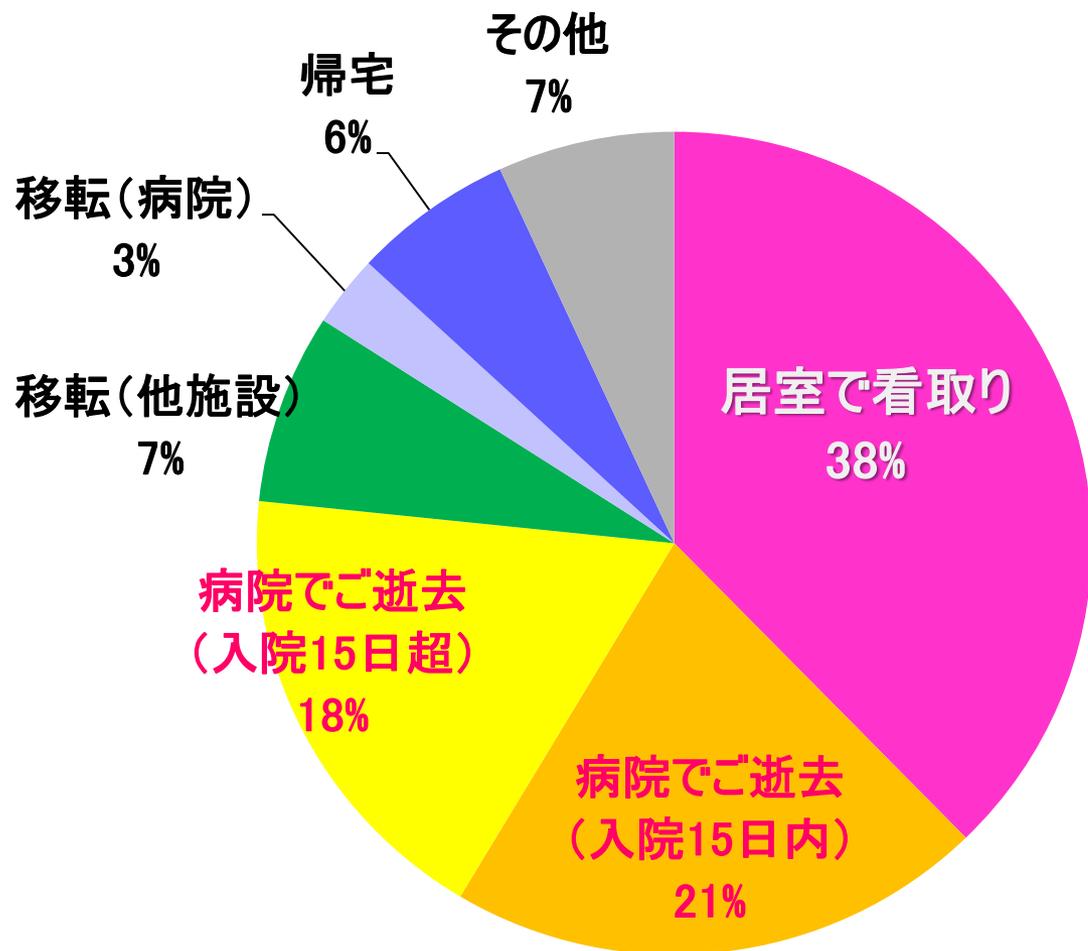


介護度が高くなっても、自尊心を持って暮らせること。身体の状態で区別せず、どんな方にも、人生のグッドタイムを届けたい。

# グッドタイムリビング 退去理由

直近1年間 : 2015年1月～12月

N=320



グッドタイムリビングは、施設ではなく、住まい。あくまでゲストの住まいであるため、最期の選択もご自身とご家族で。

## オリックスが創る 新しい介護の常識

- ✓ 尊厳を守り
- ✓ 施設ではなく「暮らし」を
- ✓ 安心とともに、賑わいを

**新常識** ① **心を支える**ことが大切です。ひとりひとりの尊厳を守り、心と身体の健康をサポートします。

**新常識** ② **この場所で、最期まで** お暮らしいただけます。看取りまでも一緒に、の想いです。

**新常識** ③ **今まで以上に、楽しい暮らし**をつくれます。美味しい食事や、賑わいのある日常を実現します。

**新常識** ④ **看護師とホームドクター**による日々の医療連携。緊急時にも、しっかり対応します。

これらの視点から気付いた  
介護サービスの将来に必要な、事業者自身の改革

# いま、オリックス・リビングが注力する取り組み

## 取り組み

- 👉 持ち上げない介護を実践
- 👉 転倒などの不運な事故をなくす

## 目的

- 😊 ご入居者の、安心して包まれた豊かな暮らしをつくる
- 😊 職員が、65歳までサービスに従事できる環境をつくる



持ち上げない介護は

誰のため？

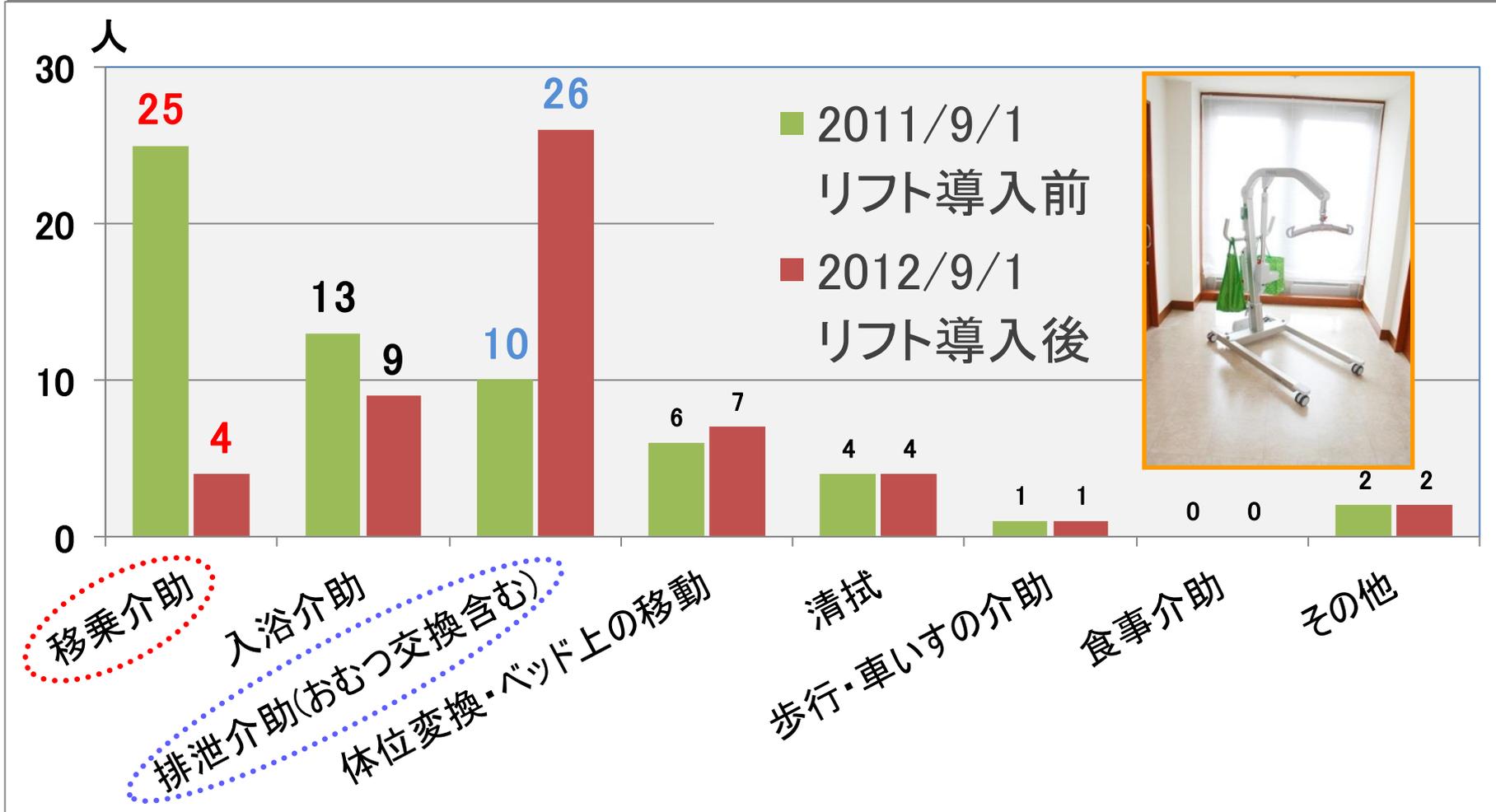
愛されて10年 信頼と実績

オリックスの介護

検索 

# 介護リフトの効果(介護職員の変化／導入前後)

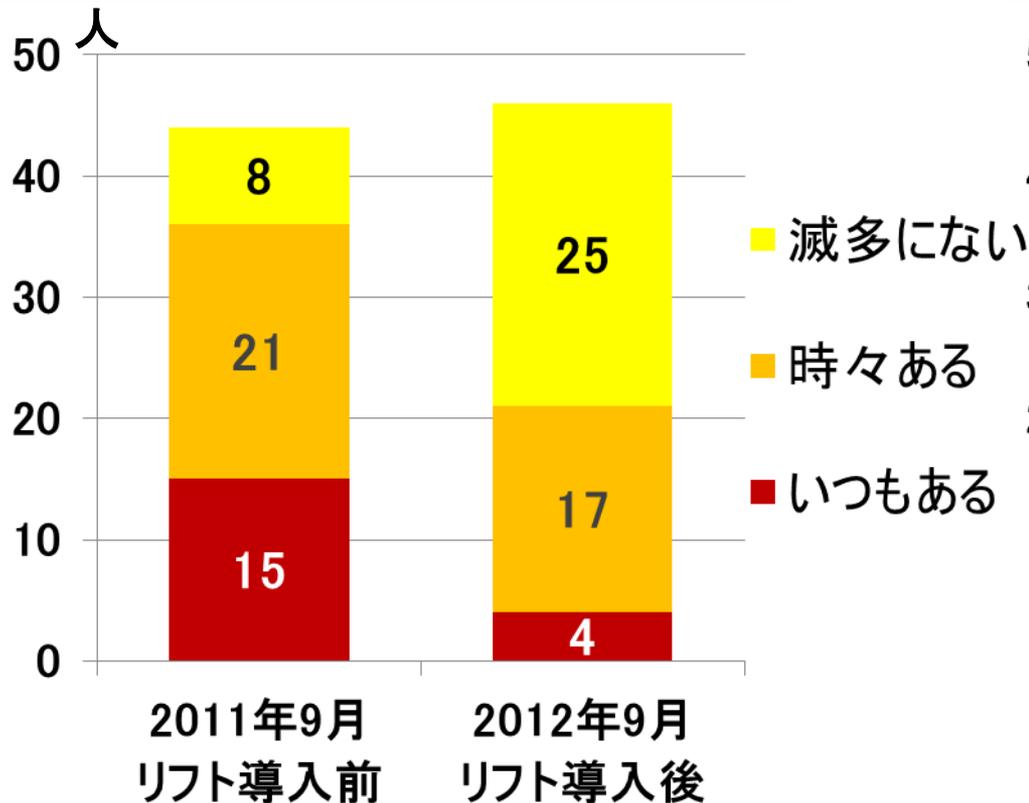
Q1：業務として行なっている作業のうち、最もつらい作業は何ですか？



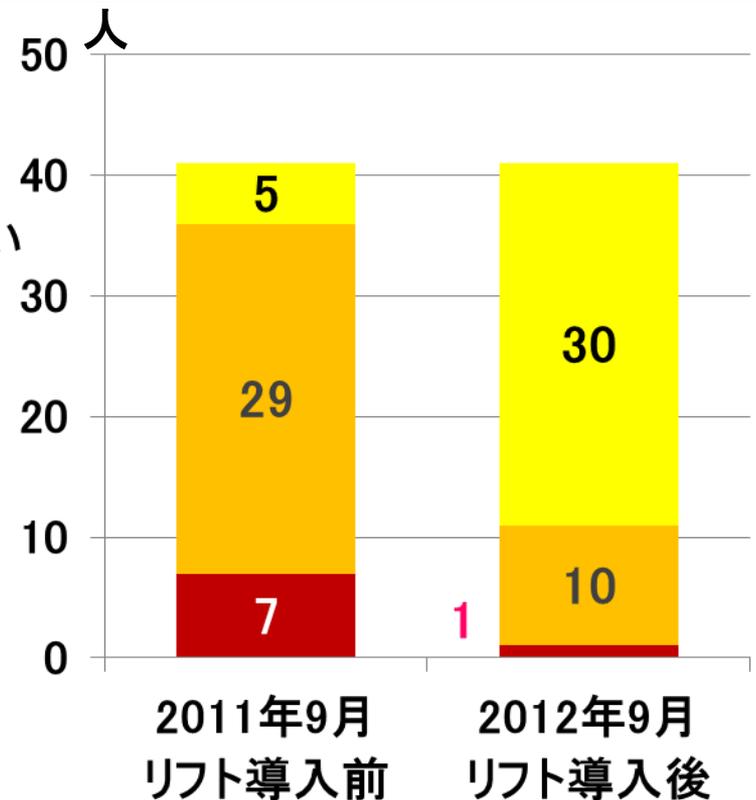
# 介護リフトの効果(介護職員の変化／導入前後)

Q2：腰背部の1週間の状態について

だるさ・重さがありますか？

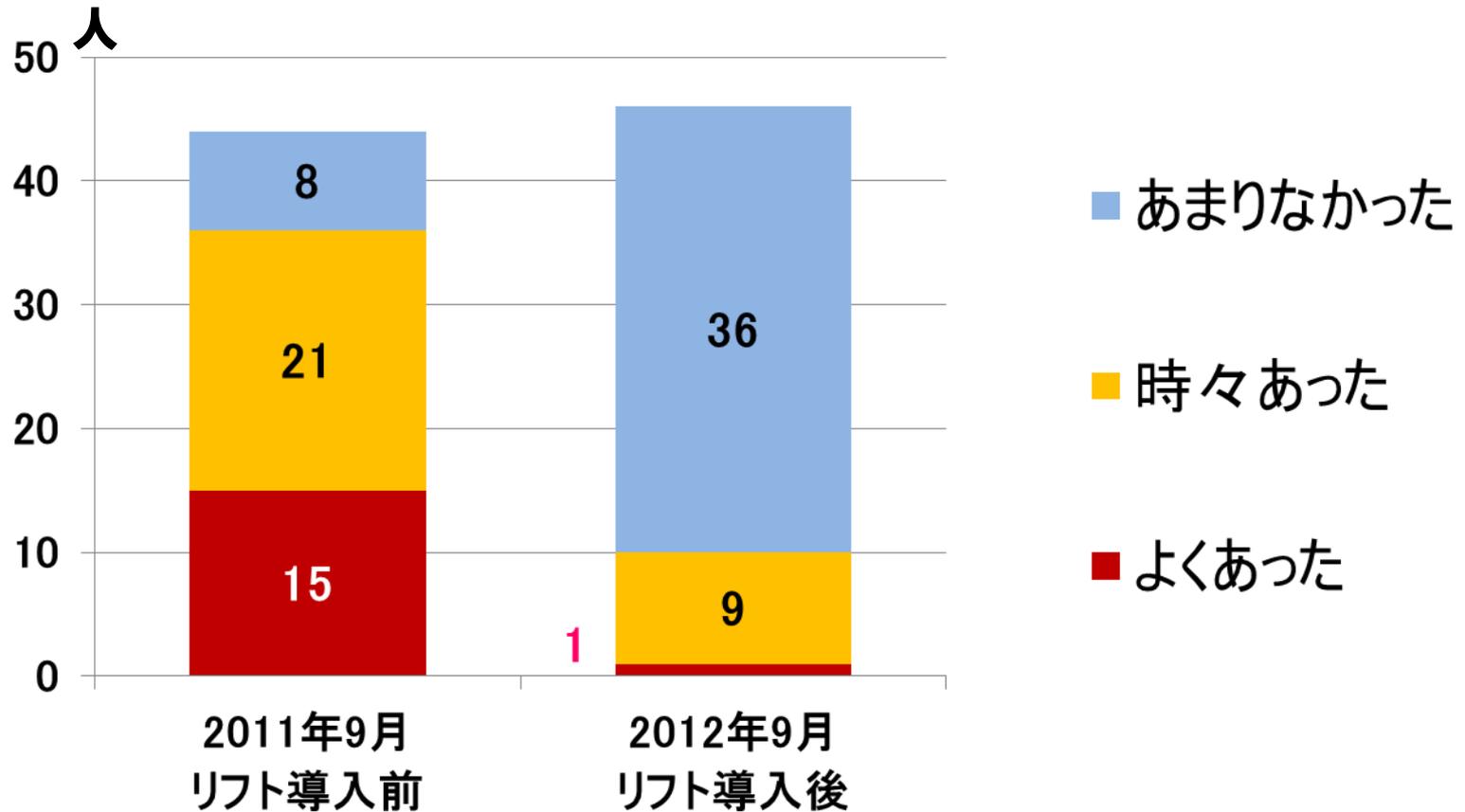


痛みがありますか？



# 介護リフトの効果（介護職員の変化／導入前後）

Q3：腰背部の症状のために、仕事をするのがつらい時がありましたか？



# 介護リフトの効果（抱きかかえ移乗との比較）

## 抱きかかえによる移乗のシーン



辛そうな表情



顔が見えない

麻痺ある腕が  
緊張で拘縮



# 介護リフトの効果（抱きかかえ移乗との比較）

## 介護リフトを使用した移乗のシーン



表情明るく、リラックス



腕がゆったり拘縮なし



# グッドタイムリビングでおきた 事故やトラブル (2014年4月～2015年3月)

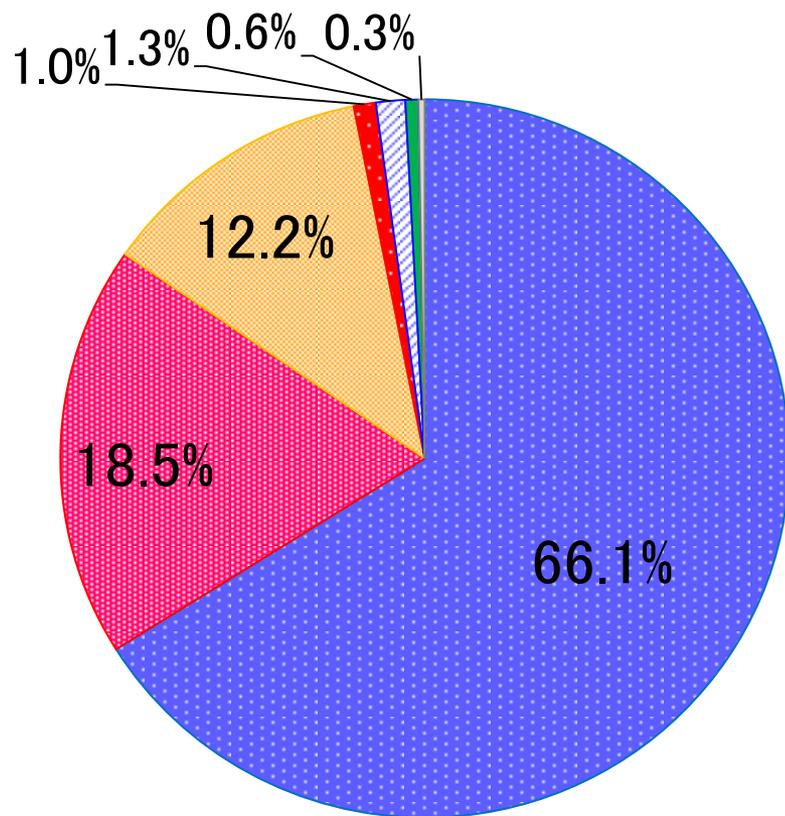
**愛されて10年 信頼と実績**

オリックスの介護

検索 

# 撲滅したい事故や失敗

## ■ 命や健康、身体の安全に関わる事故

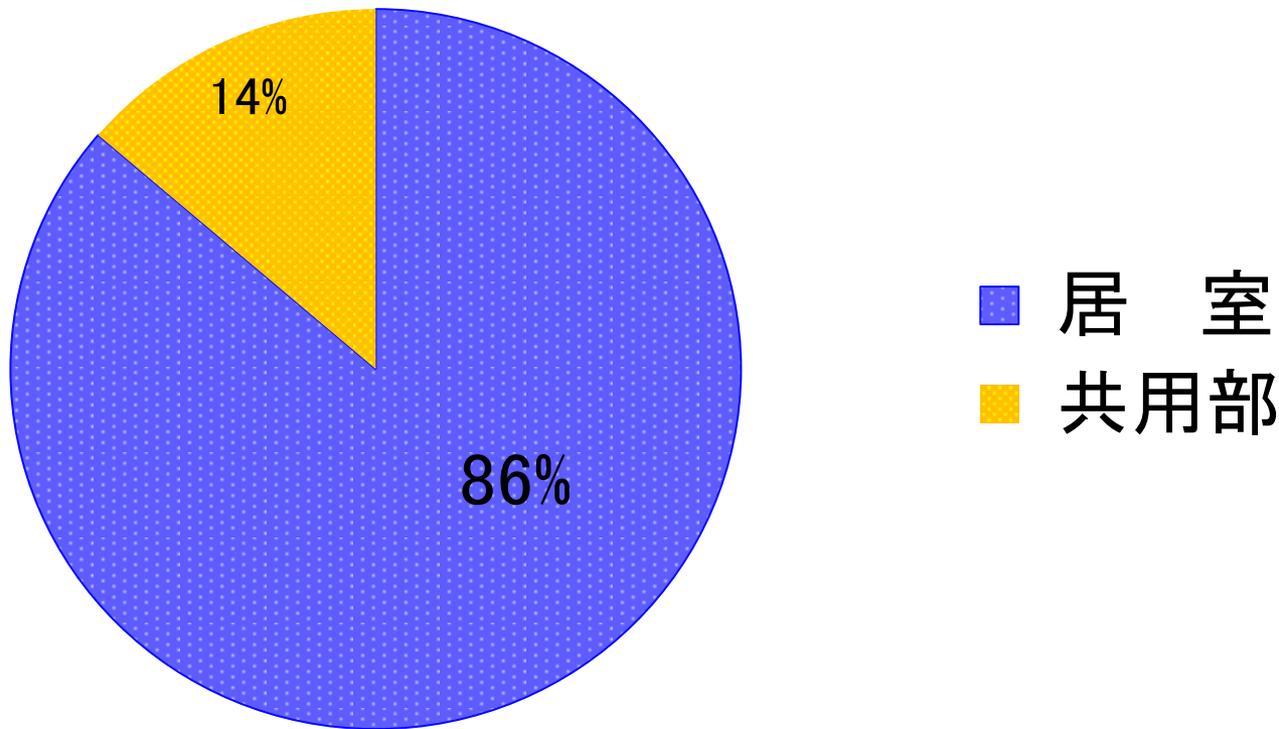


### 優先して防止策を講じるもの

■ 転倒・ずり落ち	.....	66.1%
■ 服薬	.....	18.5%
■ 外傷	.....	12.2%
■ 誤嚥	.....	1.0%
■ 異食	.....	1.3%
■ 感染症	.....	0.6%
■ 行方不明	.....	0.3%

# 転倒事故を無くすために

- 転倒の大半は、密室である個室で起きている



# 見えなかった情報を入力して、予兆段階で転倒を防止

## ■ 密室でもある個室での転倒防止

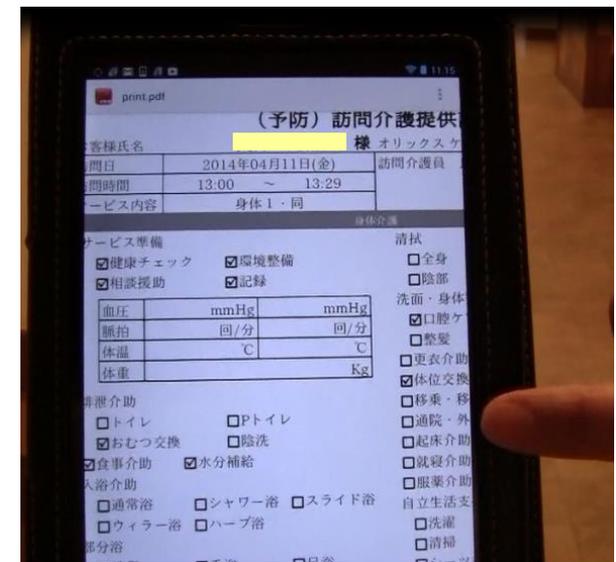
- ① ゲストのベッド上の動作を解析して、転倒の予兆をスタッフに通知
- ② 赤外線距離センサーを用いた画像処理で、プライバシーを確保
- ③ 従来型のセンサーに比べ、より早く、必要な情報を、目視が可能



# 情報を正確に伝えて、業務精度と安全を高める

## ■ 業務用タブレットPCの導入

- ① ゲストの日常生活に必要な情報を配信し、スタッフが適確に支援
- ② 個人情報、館内のWifi環境で通信して流出を防ぐ
- ③ 記録を電子化して転記をなくし、請求まで業務を効率化
- ④ 今後必要な情報を、順次連携させる基盤となる





働き手の減少のなかで、  
新しい暮らしをつくるために

愛されて10年 信頼と実績

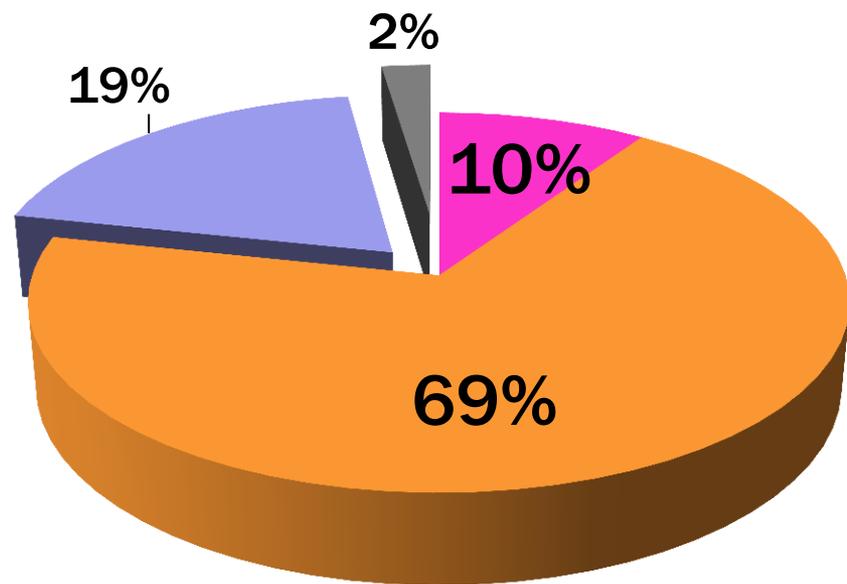
オリックスの介護

検索 

# ロボット介護機器への期待(オリックス・リビング 調べ)

- 毎年「介護の日」を記念して実施しているインターネット調査
- 2015年秋実施: 回答/40歳以上の男女、総数1,238

Q1: あなたが今後介護される立場になった場合、介護ロボットによる身体介護を受けたいですか？



- 積極的に受けたい
- 推奨されているものなら受けてもよい
- 受けたくない
- その他

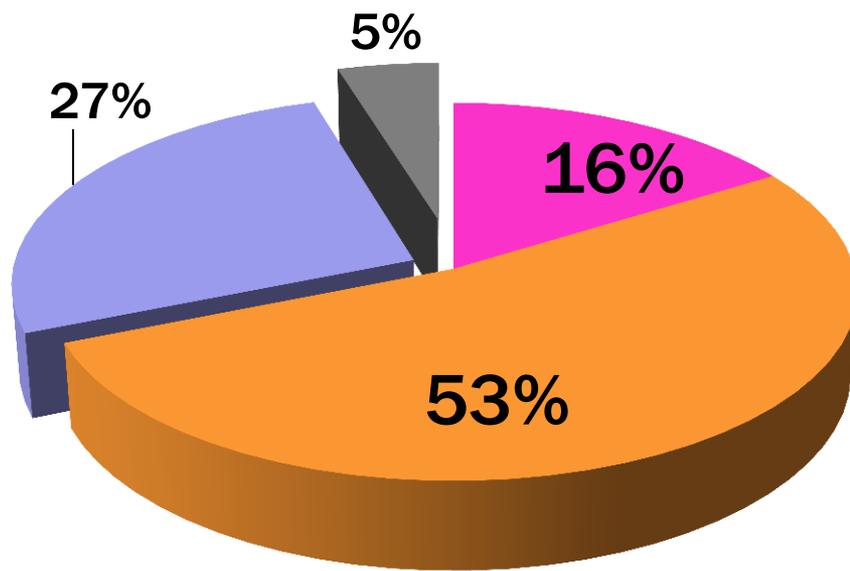
ロボットによる介護を  
受けてもよい

79%

# ロボット介護機器への期待(オリックス・リビング 調べ)

- 介護が必要になっても、ロボットを利用して自立を望む
- 自尊心を保てる環境をつくるのが、介護現場に必要

Q2 : 「積極的に受けたい」「ロボットが推奨されていれば受けてもよい」の理由は、どのようなことからですか？



- ロボットの方が安心・安全そう
- 気を使わないから
- 本当は人手が良いが気を使う
- その他

人手よりも  
ロボットのほうがよい  
69%

# 心身の負担軽減と、快適性の向上のために

---

ロボット介護機器や補助器具は・・・

- 😊 介護する者の、身体を守る
- 😊 介護される人の、身体と心の負担を軽減する
- 😊 高齢者の活動を活発化させ、心身機能を改善する

これだけ良い材料が揃っているのに、なぜ、導入しない？

- ✓ 旧態の措置時代の福祉の考え方  
(恵まれないお年寄りを支援する)
- ✓ 介護の教育プログラム(介護することの目的)
- ✓ 事業者の経営姿勢(介護保険制度ばかり見ている)

## シゴトのやり方を変えて、介護サービスを魅力あるものに

---

- ✓ 「人の手で行う手厚い介護が良い」としながら、「介護は3K」とされてきた考えを、過去のものに。
- ✓ そのためには、問題や、事故トラブルを直視し、解決する意志が必要。
- ✓ ITやロボット介護機器を採用することで、介護サービスの仕方や管理方法を改革することができる。
- ✓ “**介護保険制度**”と“**社員の人格やスキル**”に頼るのではなく、入居者の安心のために事業者が自助努力しなくては、**介護のシゴトに新たな魅力は生まれない。**